

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数： 単位 2

対象学年組：第 1 学年 AH 組～ BE 組

教科担当者：（A組：伊藤 ）（H組：伊藤 ）（B組：伊藤 ）（E組：伊藤 ）（組： ）（組： ）

使用教科書：『書道 I』 東京書籍 （2 | 東書 | 書 I 7 0 1）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質を理解すると共に、意図に基づいて表現するための知識や技術を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する態度を養い、豊か

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
小中学校国語科書写を基礎として書写能力の向上を図り、鑑賞能力や伝統文化への理解を深める。更に書表現の方法や形式、多様性について理解し、基礎的な技能を身に付けるようにする。	書に親しみ、幅広い学習活動を通して、自ら思考・判断することで、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書美の味わいを感じ取ることができるようにする。	書に親しみ、幅広い学習活動を通して、主体的・継続的に学びに向かう姿勢を養い、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢	仮	漢						
<p>単元…概説と導入</p> <p>【知識及び技能】 用具・用材の使用法を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な執筆法や用具を選択している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p>	<p>・中学校書写の復習と確認。</p> <p>・用具・用材の使用法。</p> <p>・漢字の成立と変遷。</p> <p>・古典の学習法と拓本。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具用材の名称と使い方を理解している。 筆を正しい執筆法で持っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙のサイズを判断して紙を折り、適切な大きさで書くことができる。 文字を整えて書けるように工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具を正しく準備している。 教科書やノートにメモをとるようにしている。 	○	○	○	3	
<p>単元…漢字の書・楷書の導入</p> <p>【知識及び技能】 臨書の意義を理解し、実践できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 落款を正しく理解し書ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 臨書をもとに氏名の筆書きにも挑戦してみる。</p>	<p>・古典の中にみられる基本点画を練習。</p> <p>・形臨、背臨、意臨。</p> <p>・範書を参考に氏名を書く。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本点画（起筆）を正しく書いている。 基本点画（収筆）を正しく書いている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙のサイズを判断して紙を折り、適切な大きさで書くことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 形臨、背臨、意臨を区別している。 用具を正しく準備している。 教科書やノートにメモをとるようにしている。 	○	○	○	4	
<p>単元…楷書・『九成宮醜泉銘』</p> <p>【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p>	<p>・基本点画の確認と復習。</p> <p>・半紙の折り方など（2、4、6字書き用）。</p> <p>・『九成宮醜泉銘』と背勢。</p> <p>・欧陽詢と『補江總白猿伝』。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本点画（起筆）を正しく書いている。 基本点画（収筆）を正しく書いている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 背勢を理解し、適切に表現している。 分間空白を理解し、適切に表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具を正しく準備している。 古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） 	○	○	○	4	
<p>単元…楷書・『孔子廟堂碑』</p> <p>【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p>	<p>・基本点画の確認と復習。</p> <p>・半紙の折り方など（16分割法）。</p> <p>・『孔子廟堂碑』と向勢。</p> <p>・虞世南と「天下の孤本」（拓本）。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本点画（起筆）を正しく書いている。 基本点画（収筆）を正しく書いている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 向勢を理解し、適切に表現している。 文字の左右の大きさの違いや粗密を理解し、適切に表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具を正しく準備している。 古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） 	○	○	○	4	
<p>単元…楷書・『雁塔聖教序』</p> <p>【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p>	<p>・基本点画の確認と復習。</p> <p>・半紙の折り方など（2、4、6字書き用）。</p> <p>・『雁塔聖教序』と俯仰法。</p> <p>・褚遂良と玄奘三蔵法師。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 俯仰法の起筆を書き分けられている。 抑揚のある軽快な筆使いができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 藏鋒と露鋒が区別できる。 余白の美を表現しようとしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実技のための準備をして授業に臨んでいる。 古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） 	○	○	○	4	
<p>単元…楷書・『自書告身』</p> <p>【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p>	<p>・基本点画の確認と復習。</p> <p>・半紙の折り方など（2、4、6字書き用）。</p> <p>・『自書告身』の顔法と明朝体。</p> <p>・顔真卿と安史の乱。</p> <p>・明の大船団派遣と世界四大發明。</p> <p>・マルコポーロのみた「万安橋記」。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 蚕頭燕尾の「はね」を正しく書ける。 蚕頭燕尾の「右払い」を正しく書ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横画を細く縦画が太い力強い表現をしている。 抑揚の差が激しい文字をバランス良く半紙に表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具を正しく準備している。 古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） 	○	○	○	4	
<p>単元…楷書・『牛欄造像記』</p> <p>【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p>	<p>・基本点画の確認と復習。</p> <p>・半紙の折り方など（2、4、6字書き用）。</p> <p>・『牛欄造像記』と方勢。</p> <p>・方勢と円勢。</p> <p>・側筆と直筆。</p> <p>・『鄭義下碑』と円勢。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 方筆を理解し、直線的で右上がりに書ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 方勢と円勢の違いを理解し、表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具を正しく準備している。 古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） 	○	○	○	4	

2 学 期	<p>単元…楷書・『開寺心経』</p> <p>【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本点画の確認と復習。 半紙の折り方など（行立て用）。 細字の執筆法。 細字を書く際の墨の工夫。 常用漢字、旧字体、書写体、異体字など。 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小筆の執筆法を理解し、正確に基本点画（起筆・収筆など）を書くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 均等に文字を行に配置したり、文字の大きさを揃えるための工夫や準備をし、正確な表現ができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小筆の正しい使い方、洗いや、保存法を実践している。 細字を書く上での適切な紙の準備をしている。 				4
	<p>単元…漢字の書、行書への導入</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 半紙2文字書きによる古典臨書。 半紙6文字書きでの全臨。 範書を参考に、行書の氏名練習。 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書の特徴を理解している。 点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆順が変わることを理解している。 点画が変化したり、省略されたりすることを理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の意味を理解して書こうとしている。 墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。 				4
	<p>単元…行書・蘭亭序</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書くことで全臨する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 『蘭亭序』の全臨。 半紙2文字書きでの全臨。 補助教材の使用（拡大手本蘭亭序） 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書で半紙に6文字書きができる。 点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆順が変わることを理解している。 点画が変化したり、省略されたりすることを理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の意味を理解して書こうとしている。 墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。 				4
	<p>単元…行書・争坐位文稿</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 半紙2文字書きでの形臨。 『蘭亭序』と『争坐位文稿』の比較。 顔真卿の生涯と明朝体。 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆圧の変化で線に抑揚を付けることができる。 空間をゆったりと空けて曲線を描くように運筆できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 向勢を理解して表現できる。 藏鋒を理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『蘭亭序』と比較して表現しようとしている。 旧字体を理解して読もうとしている。 				4
	<p>単元…行書・風信帖</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 半紙6文字書きでの形臨。 三筆と三蹟について。 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 線の太細の変化を表現できる。 文字と文字を連続させて書くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 字形と筆順により、点画が省略されることを理解している。 文字の重心が低く安定して表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の意味を理解して書こうとしている。 墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。 				4
<p>単元…仮名の書・古典かなへの導入</p> <p>【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 墨の濃度、紙の種類などを工夫し、様々な仮名の表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典かなを通して現代平仮名や短歌に等にも興味をもち、表現を工夫しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の基本線練習。 料紙の紹介、作成。 磨墨体験。 用具清掃。 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮名用の用具の使い方を理解している。 料紙の紹介、作成。 仮名の基本点画を正しく書くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙に対して適切なサイズで書くことができる。 適切な墨の濃度に加減して書くことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。 				4	
<p>単元…仮名の書・平仮名</p> <p>【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平仮名の結体を考え、判別し適切な表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典かなを通して現代平仮名や短歌に等にも興味をもち、表現を工夫しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙の折り方(48マス) 小筆による細字練習。 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮名の基本点画を正しく書くことができる。 平仮名の外形特徴を理解して書いている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙に対して適切なサイズで書くことができる。 元となった漢字からより適切な結びを使い分けている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。 				4	

3 学 期	<p>単元…仮名の書・変体仮名</p> <p>【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 変体仮名の成り立ちを理解・判別し、判別し適切な表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 変体仮名を学ぶことで古典文学などを判読しやすくなり、幅広い表現を理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙の折り方(48マス) 小筆による細字練習。 教科書の用例より選択して各自得意なものを書く。 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮名の基本点画を正しく書くことができる。 変体仮名の外形特徴を理解して書いている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙に対して適切なサイズで書くことができる。 基本的な変体仮名を判読することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。 	3
	<p>単元…仮名の書・連綿</p> <p>【知識及び技能】 4種類の連綿を理解し、実際に連綿を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前後の文字によって4種類の連綿を使い分けて表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 文節や単語を意識しながら効果的に連綿を表現しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 連綿の形式を4種類に分類し、提示された課題を連綿でかく。 2文字の連綿を見て、4種のうちのどの連綿に属するかを判断する。 6文字以上(例…やまのいろり)の文字を自身で連綿してみる。 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4種類の連綿を理解している。 2文字ずつ連綿で書くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前後の文字によって4種類の連綿を使い分けて表現できる。 何文字まで連綿するか、考えて工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単体仮名の書き方とは異なる表現をしようとしている。 平仮名と変体仮名を組み合わせ連綿している。 	3
	<p>単元…仮名の書・古典かなの臨書。</p> <p>【知識及び技能】 基本的な仮名の線を用いて古典仮名を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 連綿を用いて書かれた古典を正確に理解し、表現を工夫出来る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典かなの美を理解・鑑賞し、表現に活かそうとしている。</p>	<p>これまでに習得してきた仮名の線質、仮名の外形、変体仮名、連綿をもとにして古典を臨書する。「蓬萊切」「高野切」「三色紙」など。</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 流暢な連綿線で臨書することができる。 墨継ぎ箇所まで理解して臨書している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な墨の濃度に加減して書くことができる。 書かれている内容まで理解して臨書している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字サイズまで正確に臨書している。 料紙など文字以外の美についても鑑賞しようとしている。 	3
	<p>単元…漢字仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】 これまでに学んだ仮名の知識をもとに漢字と仮名をバランス良く交えて書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古典を生かし様々な表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な表現を比べて文の内容に相応しい表現を探している。</p>	<p>漢字と仮名の混じった詩文を選択する、もしくは作る。文字の展開、行の構成を考え、工夫して草稿を作る。</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平仮名、変体仮名を読み、理解出来る。 仮名を適切な大きさや外形を理解し草稿を作ることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに学んだ漢字の古典を活かしている。 漢字と調和のとれた仮名を工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幾つかの表現を比較してより効果的な表現を模索している。 鑑賞のための言葉の語彙を増やそうとしている。 	3
	<p>単元…漢字仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】 用具用材の知識や線質の変化によって、漢字と仮名をバランス良く書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 用具用材や線質に適した紙面構成を工夫し、表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な表現を比べて文の内容に相応しい表現を探そうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 継ぎ紙の技法をもって料紙を作る。 色紙の形式に則って散らし書きをする。 古筆の技法を活かして創作をする。 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字と調和のとれた仮名を工夫して、書くことができる。 用具用材、線質、構成まで工夫している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに学んだ漢字の古典を活かしている。 漢字と調和のとれた仮名を工夫している。 用具用材にも注意を払って幅広い表現を工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幾つかの表現を比較してより効果的な表現を模索している。 鑑賞のための言葉の語彙を増やそうとしている。 	3
						70